

## 守れる自信がない約束は、しない。

自分の信頼を高める方法があります。

守れる自信のない約束をしないことです。

あなたが約束をするかどうかの基準は何でしょうか。

「守れそうなら約束する。守れなさそうなら約束しない」

おそらく、こうした感覚ではないでしょうか。

実は、この感覚には欠点があります。

「守れそうなら約束する」ということでも、守れない可能性があることです。

「約束」というキーワードは、簡単に言えますが、重く考えることです。

軽い気持ちで約束するのは、よくありません。

「もし守れなくなれば、そのときに謝ればいい。軽い内容なら相手も許してくれるだろう」と思います。

たしかに軽い内容なら、相手も許してくれるでしょう。

しかし、たとえ許してくれても、相手には「約束を守れなかった」という事実として判断されます。

大切な信用を失っているのです。

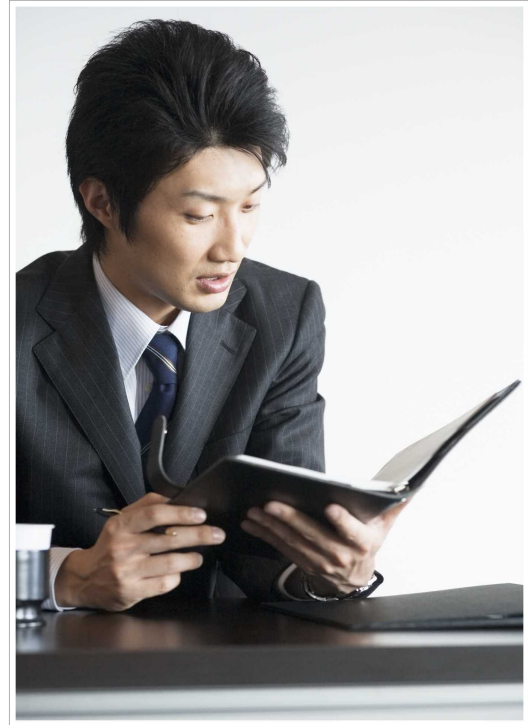
約束をするときには、慎重になることです。

守れる自信がない約束は、しない。

約束をするときには、必ず守れる内容だけ厳選します。

約束を果たす自信がなければ「守れる自信がない」と正直に言って、素直に謝りましょう。

正直に断るほうが、かえって信頼を高めます。



「本当に約束を大切にしている」という姿勢が伝わるからです。

ささいなことでもいいですから、確実に自分が守れる約束だけを続けていきましょう。

この習慣を続けていけば、自然とあなたの信頼が高まります。

## 人間関係に疲れたときの言葉 その9

**守れる自信がない約束は、しないようにする。**